

わたくしたちの健康

埼玉ストロークネットワーク

朝霞地区医師会 さいとう ふみお 齋藤 文男

☎464-4666

埼玉ストロークネットワーク（以下SSN）は、平成30年1月からスタートした、脳卒中を中心にした埼玉県内の救急医療体制です。埼玉県は人口に対するベッド数や医師数が全国的に少なく、地域によっては適切な治療が受けられていないと考えられる状況でした。当時危機感を持った県が、県内の消防署・病院に声をかけ、一人でも多くの県民が迅速に脳卒中の治療が受けられるように構築したものです（消防法第35条の5第2項第6号）。

「脳卒中（ストローク）」とは、脳に突然の病気が起こるものをいいます。ほとんどが脳の血管に異常をきたすものです。死因としては心臓病、がん、肺炎に続く第4位なのですが、寝たきりや要介護となる原因として、とても多く、大きな社会問題になっています。

脳卒中には、大きく分けて脳出血・くも膜下出血・脳梗塞がありますが、特に現在の高齢化社会で、脳梗塞が全体の4分の3を占め、現在も増加傾向にあります。

その脳梗塞とは、不整脈や動脈硬化などいろいろな原因で脳の血管が詰まってしまう病気で、その結果、脳細胞が壊死してしまうと生命を失ったり、まひや言語障害など多くの後遺症を残します。治療するには、発症してからの時間が大切で、一分一秒を争います。

現在、詰まった血管の血栓（血のかたまり）を注射薬で溶かす治療（t-PA静注療法）と、最近盛んになった、血栓回収療法（カテーテルという細い管を血管の中を通して血栓をからめ取ってくる）が最も効果的な治療と言われていますが、前者は発症時刻から遅くとも4時間半、後者は8時間までに治療をはじめなくてはなりません。ですから、病気発生から一刻も早く病院に搬送する必要

があり、この脳梗塞の患者さんを救うために、SSNが発案され、構築されたというわけです。

病気発生から、救急隊が到着し、脳梗塞の疑いが強い場合、前記の2つの治療ができる病院に速やかに搬送することが大切です。かかりつけや希望する病院があっても、遠くて搬送に長時間を要したり、すぐに脳梗塞の治療ができないこともあります。

SSNではカテーテル治療を含めた脳卒中、特に脳梗塞の急性期治療が24時間365日可能な体制を持つ病院を「基幹病院」と言って、現在県内で約31病院が指定されています。その病院の当番医師はSSN専用スマートフォンを携帯しているので、救急隊員は現場から直接医師に電話で病状を報告し、指示を受け、迅速に搬送できます。病院側も、その情報に合わせて受け入れ・治療の準備を開始できます。

埼玉県南西部医療圏の中の朝霞地区4市には、新座志木中央総合病院のほか国立埼玉病院、TMGあさか医療センターの3病院が基幹病院として登録されています。また当地区では、脳梗塞のみならず急性期の脳の病気が疑われれば、柔軟にその3病院に搬送してもよいという運用が取り決められています。

脳卒中、特に脳梗塞を疑う症状は難しい場合もあると思いますし、（まさか自分がと）つい様子を見てしまうことも多いようです。まひ以外に、ろれつがおかしいとか、顔面が非対称であるとか、ご家族が気づく場合も多いです。

時間が勝負。すぐ救急車。これらのことを心に留め置いていただければ幸いです。

わたくしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
10	4	朝霞	村山クリニック	内、循内	471-1636	志木	内田耳鼻咽喉科医院	耳、気、外	473-3387
	11	新座	きたざわこどもクリニック	小、アレ	424-8633	和光	新倉診療所	内、外	467-1155
	18	志木	いわさき内科・循環器科	内、循内	486-4622	朝霞	北朝霞藤宮眼科	眼	474-1417
	25	新座	海江田医院	内、小、神内	042-491-6262	朝霞	朝霞駅東口たんば内科クリニック	内、消内	450-2211

日曜日、祝日に開局している薬局
下記のQRコードから確認できます。



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

休日歯科応急診療所（新座市保健センター内）

10月の休日歯科応急診療所はありません。

救急医療のお問い合わせ

- 埼玉県南西部消防本部 ☎048-460-0123
- 埼玉県救急電話相談 #7119(全国共通ダイヤル)または ☎048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS)